

<b>事業名</b>	<b>～発災時の要配慮者の迅速な安否確認のために～ 災害時自動安否確認システムの導入</b>
------------	--

<b>ここがポイント</b>	◆オートコールとAIによる安否確認を導入し、支援開始時間を大幅に短縮します。 ◆安否確認を一斉に行うことで、職員が迅速かつ手厚く支援活動に対応できるようになります。	<b>予算額</b>	9,110千円
		<b>区分</b>	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 臨時 ( <input type="checkbox"/> 新規・ <input type="checkbox"/> 継続 ) <input checked="" type="checkbox"/> レベルアップ

現在、発災時の要配慮者の安否確認は、民生委員などの支援者が、要配慮者に対して電話等により個別に行う仕組みになっています。しかし、時間を要するとともに、支援者自身の安全が確保できない場合は対応が難しくなるおそれがあります。そこで、要配慮者の安否を確実に速やかに把握し、支援開始までの時間を大幅に短縮するために、自動的に一斉発信する電話システムと、AIによって安否情報を集約する仕組みを導入します。

**事業概要**

オートコール（一斉架電）とAIを組み合わせたシステムにより、対象者に一斉に架電して安否確認を行うとともに、確認した内容を自動でテキスト化します。また、応答がなかった方には自動で再架電します。  
このシステムでは1秒に2コールの発信を行うことができ、300件に架電する場合、人による対応では約10時間30分かかるところ、約30分で完了します。

**導入前(1件あたり)**

- 名簿を見て1件ずつ電話をかける **2分**
- メモをとりながら対象者の安否を確認 **6分**
- 電話をきいた後、メモの内容をPC入力 **5分**
- 電話に出なかった方に再架電 **2分**

対象者の人数分反復  
職員は支援活動へ **約15分**

**導入後(複数同時)**

- 登録した電話番号に任意のタイミングで一斉架電 **2分**
- 対象者の安否について自動音声で質問
- 対象者の回答内容を自動でテキスト化
- 応答のなかった方に自動で再架電

**架電完了  
職員は支援活動へ** **約2分!**

■スケジュール 試行実施:令和 6 年 1 0 月～1 2 月、本格実施:令和 7 年 1～3 月

<b>問合せ</b> 	課長	防災課 鳥居(とりい)
	☎	03-3578-2540 (直通)
	係長	防災課 地域防災支援係 森田(もりた)
	☎	03-3578-2516 (直通)